

【From Kobe 10 月】 澄み切った青空が続く季節に 元気に 飛び出しましょう !!

2014.10.1. by Mutsu Nakanishi

1. 初秋 神戸の観光 walking spot スポット 案内

2. 気持ちがほっとする 京都 東寺の弘法さん これは私だけか 2014.9.21. 京都 東寺の弘法市で

1. 初秋 神戸の観光 walking spot スポット 案内

10 数年ぶりに学生時代の仲間の同窓会で神戸にやってくるという 飲んで語ってとみんないうのですが、そうはいつでも地元 観光スポットはちえつくしておかねば・・・と 神戸の観光 walking spot を久しぶりに歩きました。神戸から地下鉄・電車で約 40 分の有馬を除けば 三ノ宮から walk 30 分圏内にもうれしい walking コースが幾つものほかにも そんな会がこの秋には幾つかあって、仲間に出会えるのがうれしい この秋です

◆ 坂の街「神戸」の展望台 再度山ドライブウェイの登り口 ピーナズブリッジ



◆ 北野 異人館通り & 北野坂



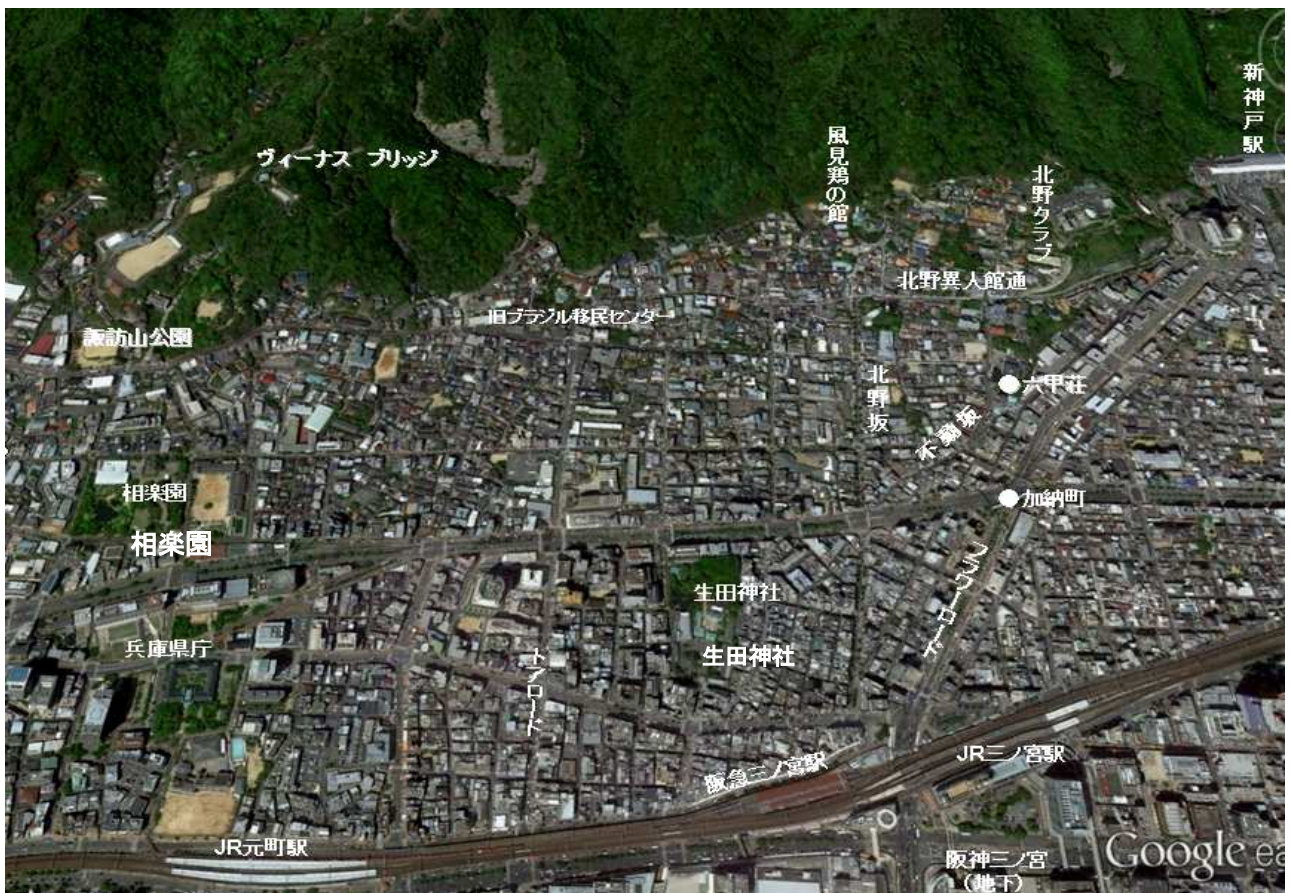


◆ 有馬温泉 日本で一番古い温泉 火山もないのに鉄分の多い金泉（赤湯）が今も湧き出している



【 参考 三ノ宮・元町・港 神戸市街地 google earth 図 】

神戸 三ノ宮から 徒歩 30 分圏内の観光 walking spot 図



2. 気持ちがほっとする 京都 東寺の弘法さん これは私だけか

2014.9.21. 京都 東寺の弘法市で



京都 東寺の弘法市 2014.9.21.

お彼岸の9月20日 庭に咲いた千日紅の花などを墓前に供えて ふっと息を吐く。

これも ふっと思い浮かんで「明日 八瀬の墓参りに行って 弘法さんへ行こか・・・」と家内に言うと「行こ」と即決。

21日は「京都東寺の弘法さん」 阪神間では「お大師さん」ともいい、お寺の境内や門前に「掘り出し物市」が立つ。

家内の目当ては 和服リフォームに使う着物布探し。私は 秋の帽子探し。 墓参りよりもこっちが主。

東寺の弘法市も年々盛んになって、出店も訪れる人も満員状態。

入れ替わりはあるのですが、だいたい同じ場所に同じ人が品物を広げている。

高価なものは買わないが、掘り出し物 安価で納得のゆく品が店主とのやり取りで買えるのが魅力で、すぐ置き忘れてくなくてしてしまう帽子。 気楽に買えて「忘れてもまあええか・・・」と納得できる弘法市の買い物を愛用。

家内もせっせと手に入れた着物布をほどいて洗いなおしては和服地の鞆や服や小物に作り直しては 楽しんでいる。

21日 朝早く神戸を出て、まだ、9時過ぎなのに もう 東寺の境内は満員。 お彼岸と日曜日が重なって本当にすごい人出。 東寺北門のすぐ前のコインパーキングから車の出るのが見え、そこに来るもを入れる。今日はラッキー ついてるぞと。

「今日は紬地など 一つ3000円までのもの それに漬物と帽子 安いやつね」と家内が言う。多少??ですが、シッカリしてると。

東寺の門の所で、いつも反物を売っている人に「おじさん 模様の入ってない白生地ないの・・・ 去年 ここにあったんだけど」と家内が声かける。「ああ ごめん 今日は早ようから売れてしもたわ。カンニン 今度な 」と。

こんな調子で出店に首を突っ込んではお目当てを探して歩く。

店主も「ほか見てまた戻つといで」と気楽に声をかけてくれる。。



京都 東寺の弘法市 2014.9.21



東寺 弘法さんで さすがに京都 土蔵から出てきた着物・反物を扱う店が多い 2014.9.21.

さすがに京都 若い人から年寄 家族ずれそれに外人さんと多種多彩。和服をリフォームしたおばさんも実に多い。
 「その紬 ええわ そろこちがええよ」店の人ではない。ふと見ると 頭から首巻 足元まで 和服地で着飾ったおばちゃんが、
 横から口をはさむ。家内もすっかり その気になって「こっち買う それにこれも。二つ買うから ちょっとまけて」と。もう仲間や。
 「お茶代だけやで」と笑いながら女主人。奥のご主人が五百円玉1枚返してくれました。これもラッキー。



家内の着物布も買えたので、次は私の秋の帽子。
 年寄臭くなく ちょっと違ったやつを買いたい。ハン
 チングはかぶったことがないので一つ街歩きに買お
 うと。予算は 2000 円までと以前帽子を買った出店
 を探す。確か東門の近く。やっぱりありました。
 街で買うより 品ぞろえが沢山あって 勝手に被って
 もいいし、気楽に探せるのがうれしい。
 別の店で 渋皮染めのええハンチングがあったので
 すが、高かった。「これはどう」と女店主が帽子を差し
 出す。「ええ言うても 自分では見えん」というと「鏡
 持ってくる」と。「おばちゃん ハンチングとこれと2つ買うので 2000 円にして」「おばちゃん いうたから あかん」と笑う。
 脈がありそう。「それやったら お姉ちゃん 2つ」 これで 2000 円で 2 つ秋の帽子を手に入れた。もう 置き忘れを気にせ
 ず、帽子をかぶれる。家内がさっき行った店に戻って着物地を買うという。これは私の肩掛け鞆になりそうだ。
 途中で、山椒入りの木の芽あえ そして 生八つ橋も買って、今日の買い物は終わり。
 あっという間に1時間半 後はぶらぶら 境内の出店を見て歩く。





京都 東寺の弘法市 2014.9.21.

買い物に付いてゆくのはどちらかというと 嫌いなのですが、弘法市は楽しい。
特に目新しいものもなく、しゃれた店もなし。もう ごちゃまぜのアンティーク市ですが、こんだけ多くの人が集まり、
しかも出店も同じ店が何年も続いている。その魅力は何なんだろうか……
ごちゃまぜで何でもあるが、その魅力ある豊富な品ぞろえは 今の街中ではなくなってしまっている。
売りつける出なく 買う方も手に取って 気に入ったものを丹念に探す。
売る方も 買う方も こんなに仲間がたくさんいて 会話をしめながら 買い物ができる場所が街にあるだろうか。
人波でござった返す東寺の弘法市を抜けだすが、気分は爽快。家内との会話も弾む。
今日は ようしゃべったなあ こんな買い物久しぶり ええ帽子も買えたし 満足満足

かつての街の賑わい・街での買い物も こんな風であったように思う。また、偽物も多かったが、祭の楽しさもこれだ。
街並にきれいな店が立ち並び、街中を分断して自動車がピュンピュン走り抜け、なにかよそよそしくなって、
街から 人波と笑顔が消えてしまった。
「コミュニケーション・コミュニケーション」とよく耳にするが、中身がない。人は生きた会話に飢えているのではないかと。
またぞろ 国際社会を生き抜くために、英語教育を充実しようという箱・制度作りが横行している。
具体的ソフトもなしに 制度だけの「箱」作りが、ほんまに必要なのだろうか……
「玉石混合の情報過多の時代に そんなものより感性や。上滑りな即物的思考から 選択判断力・思考力見の
醸成プログラム そして 仲間の中に飛び込む力」と。飛び込めば身振り手振りで 何とかなる。
夢だと思っていましたが、あっという間に スマートホンにしゃべれば 英語に翻訳して表示してくれるし、
初音ミクちゃんが翻訳して しゃべってくれる時代になったではないか……。
それこそ 街の会話も 看板の字も 翻訳されて眼鏡に写る時代がもうもう身近に…
色々 顔を出して 街に出て、声をだそう。イベントを長続きする連携の輪につながねば……と。
いま、地方再生の方策が叫ばれているが、整然とした冷たい未来都市づくりに精を出すより、
泥臭いが、生き活きた生活臭のある街づくりが、今一番必要だと感じているのは私だけでしょうか…
弘法市から出てきて この爽快感はなんでやろうと ふっとそんなことを考えました。

2014.9.21. 京都 東寺の弘法さんの後で by Mutsu Nakanishi

語人声天

職場での長い経験から身に染みた教訓がある。組織の中で起きたもめことをうまく解決するには、当事者同士が顔を合わせて話し合え、ということだ。電話では相手の表情やしぐさが見えない。話を取めるきつかけもつかみにくい▼もつといけないのはメールだ。顔どころか口調も声音もわからない。無機質な文字列の応酬が互いの感情を逆なでし、双方ひけなくなるのを何度か目にした。電腦空間には危うさがあると実感した。生身をさらしあうことの意味は大きい▼クラスの仲間との「話し合い」を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできていますか？ おととい発表の全国学力調査と同時に行ったアンケートで、文科省が今回新たに設けた質問だ。そう思うと答えた児童生徒の方がそう思わない子よりも成績がよかった。国語でも算数、数学でもそうだった▼1日にどれくらいの時間、スマホやケータイで通話、メール、ネットをしますか？ これも新たに聞いた。時間が短い子ほど正解が多かった。中3の数学だと、30分未満と4時間以上では正答率に20%近い差が出ている▼生身のつながりは善玉、IT経由は悪玉。そんな二分法はもちろん単純にすぎる。ものは常に使いようだ。昔の人がよく口にした案配という言葉を思い出す。ほどよく、いい具合に、という知恵を身につけたい▼ちなみに先の調査では、新聞をよく読む児童生徒ほど正答率が高い傾向にあった。少しうれしいが、新聞を読んでいる子の割合は減少した。